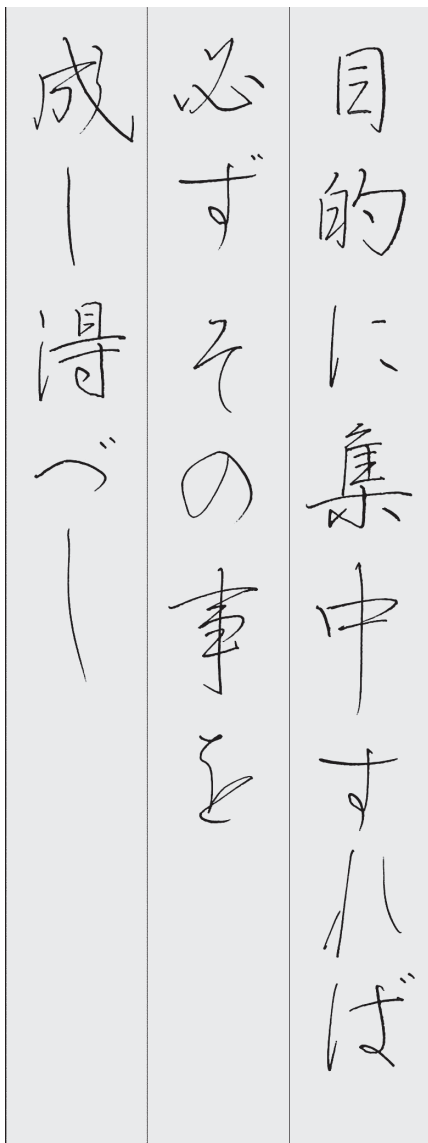


憲照先生の手本ア・ラ・カルト (35)  
(à la carte)

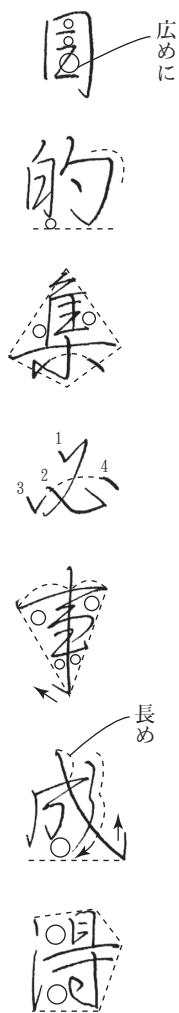
締切り 十一月二十二日(必着)

昭和57年5月



つけペン・墨汁使用

〔解説〕



◎本会は、今年で創立六十八周年を迎えます。まだまだ世の中は、新型コロナウイルス禍の影響で、世界中が不安の中にいます。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年同様『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。

お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。同一課題を楷・行・草の順で繰り返し、掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★目的に：(書体Ⅱ行書)

春日潜庵(一八一一〜一八七八)

江戸末期から明治初期の陽明学者・儒学者

「如何に弱き人と雖ども、その全力を単一の目的に集中すれば、必ずその事を成し得べし」が全文。

どんなに強くて優れた人でも、あれやこれやと手を伸ばして力が分散してしまうと、どれ一つとしてきちんとやり遂げることはできません。

だからだと学んだり働いたりするより、これと決めたら一心不乱に集中すれば、いかに弱い人でも大抵のことはものになるものです。

〔作品の出し方〕

▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

準初段から六段まで

新入から1級まで

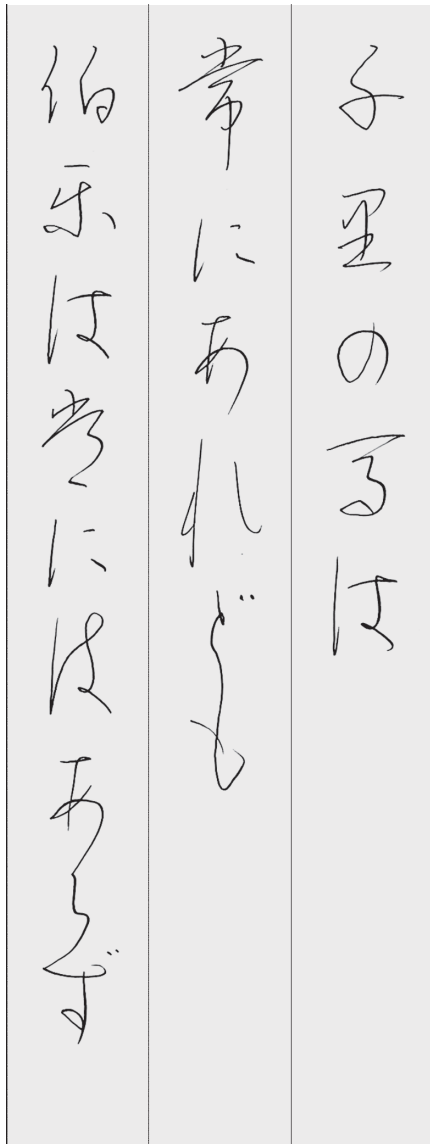
〔解説〕

〔読み〕千里の馬は 常にあれども 伯楽は常にはあらず

丸みを

広く

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。



新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

善	す	舟
く	な	覆
泳	わ	り
ぐ	ち	て
を		
見		
ら		

◆12月課題予告(楷書)  
己の欲せざる所は 人に施すことなかれ

論語

▼教範・書範||行草または草書  
▼師範||行書

★千里の馬は…(行草または草書)  
韓退之 中国唐宋八大家の一人  
名文家の彼は寓話で諷刺のするどいものを残しています。  
「人々は一日で千里も走る良馬はなかなかいないなどと言うが決してその様な事はない。逆に世の中には千里を走る良馬は常にいるが伯楽(鑑定者)は常にいるとは限らない。だから一生駄馬にされてしまう馬もいるのだ。」  
と言っています。このたとえ話は、「立派な人材は、なかなかいないと言うが決してそうでなくこれを見出して、活躍する場所を与える名宰相がいなから、その人材は一生も凡庸な上役にこきつかわれ死んで行くのである。」と諷したものであります。

◆12月課題予告(行書)  
一日一字を習え 三百六十字 童子教

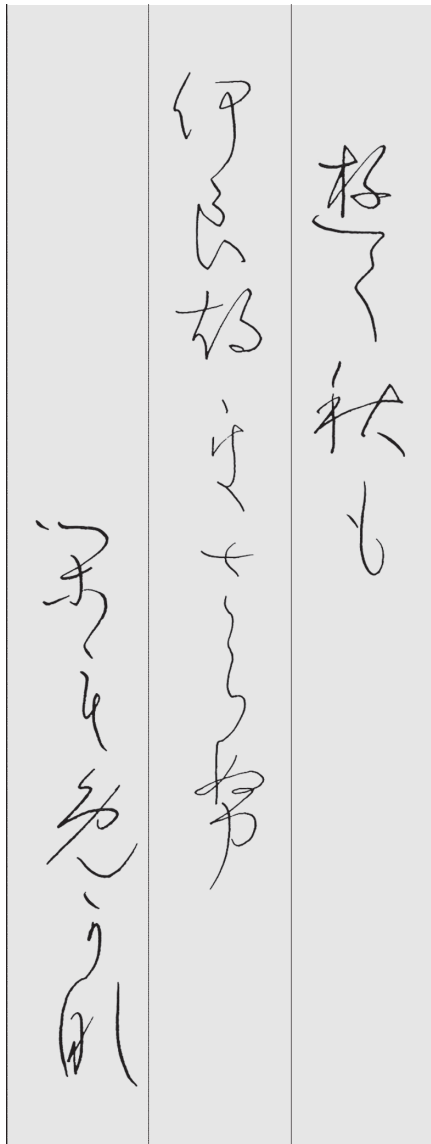
★舟覆りて…(書体||楷書)  
淮南子 中国前漢の学者  
この言葉の意味は、無事平穩の生活をして居る時には、誰が本当に優れた才能や手腕があり、誰に胆力があるかわからないが、何か事が起こった時にはじめてそれがわかる、というのです。ふだん偉そうな顔をしている者が、いざというときになって、案外無能な腰ぬけである事がわかったり、またその逆の様な事がままあるものです。上だけという事のないよう、心したいものです。

# 一般部かな課題

締切り 11月22日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで



遊  
ゆく秋も伊良胡を去らぬ鷗かな  
平  
可  
那

毛  
ゆく秋も伊良胡を去らぬ鷗かな  
可  
奈

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



た なか き こう 書  
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

た なか き こう 書  
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

## ◆12月課題予告

行燈の煤けぞ寒き雪の暮れ

(越智越人)

遊 越 越 越 越  
毛 毛 毛 毛 毛  
乎 字 字 字 字  
閑 糸 糸 糸 糸  
免 糸 糸 糸 糸

【解説】「へ何い胡」の中心より右に「へ何い胡」を書き、その「へ何い胡」の中心より少し右を中として、「へ何い胡」を書きましよう。

【鑑賞】杜国は名古屋の富裕な米問屋であったが、空米売買の罪を得て(藩政の犠牲になったらしい)、初め死罪を宣せられたが、のちに死一等を減ぜられて所払いとなり、三河国伊良胡(実際は畑村で、のちに保美村)に蟄居することになった。

【古筆参考】

ゆく秋も伊良胡を去らぬ鷗かな

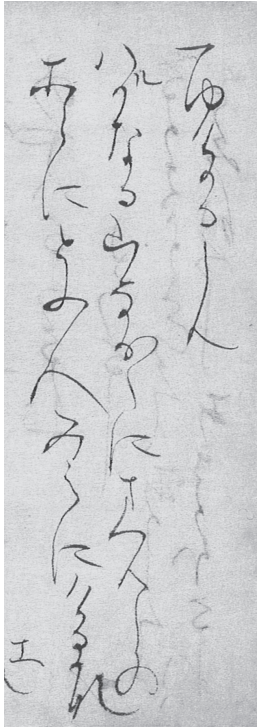
(坪井杜国)

締切り 十一月二十二日(必着)

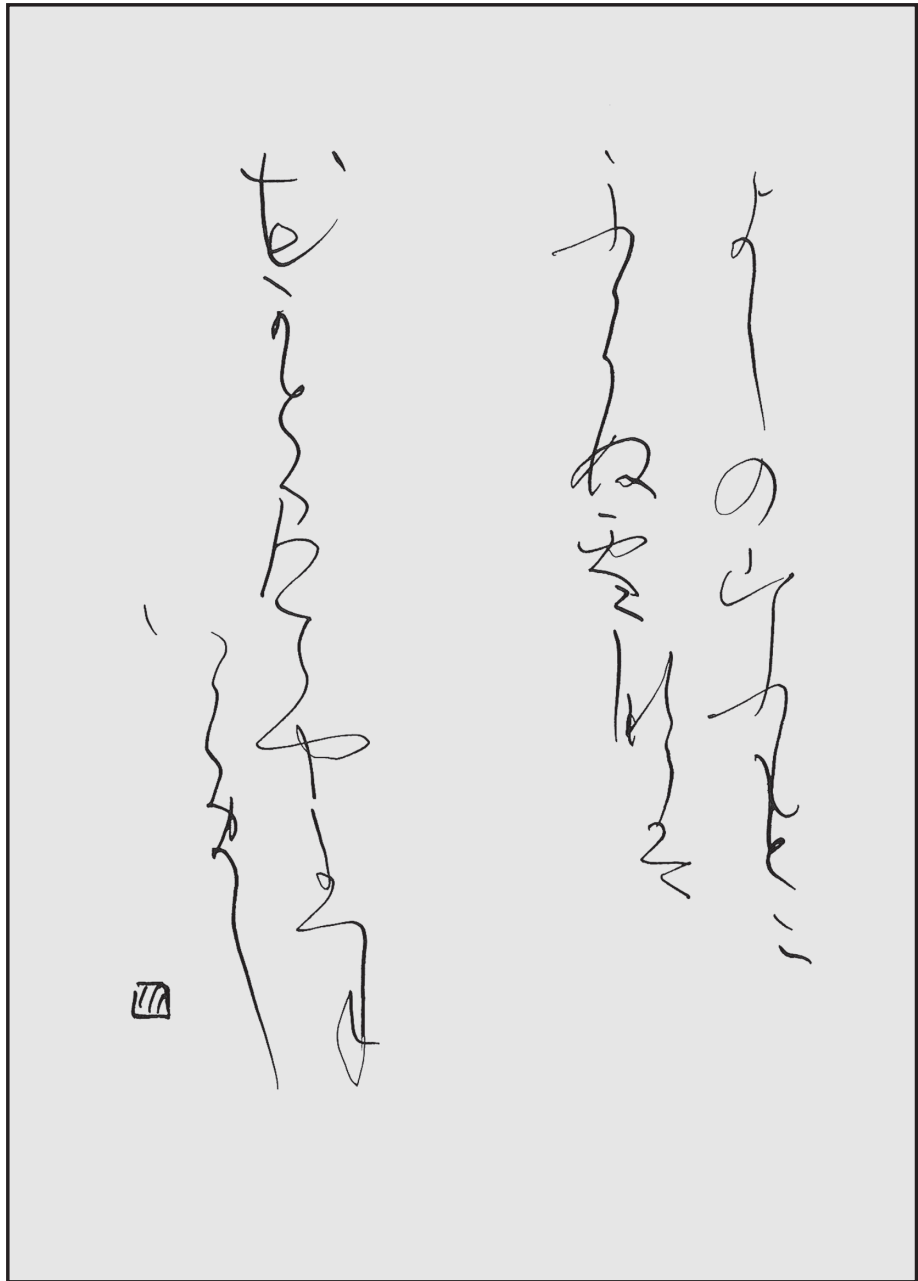
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

なかつかきしゅう  
中務集



つゆけかるらん  
はルかなる山なかくにまつむしの  
所らにとぶ人みえにけるかな

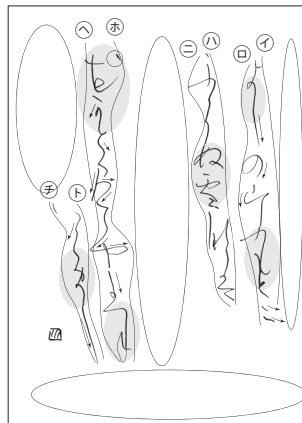


吉野山麓にふらぬ雪ならば  
花かと見てやたづね入らまし

〔歌意〕吉野山に、麓ではなくもっと奥の峯の方で降った雪ならば、いつも桜のことを思っている自分だから、もう咲いたのかと訪ね入ろうものを。

〔出典〕新潮日本古典集成

〔解説〕



- ・ ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、それぞれ呼応。
- ・ ○ 余白大切。
- ・ ● 密の動き大切。
- ・ ∟ の方向大切。

◆12月課題予告

花におく露に宿りしかげよりも  
枯野の月はあはれなりけり

締切り 11月22日(必着)

澄みわたった青空に柿の実が一つ  
残り、秋の風情を醸しています。  
今月の中旬に、近くの神社の境内で  
開かれる菊花展が楽しみです。  
時雨の多い時節柄、くれぐれも  
ご自愛のほど、お祈り致します。

澄みわたった青空に柿の実が一つ  
残り、秋の風情を醸しています。  
今月の中旬に、近くの神社の境内で  
開かれる菊花展が楽しみです。  
時雨の多い時節柄、くれぐれも  
ご自愛のほど、お祈り致します。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。  
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

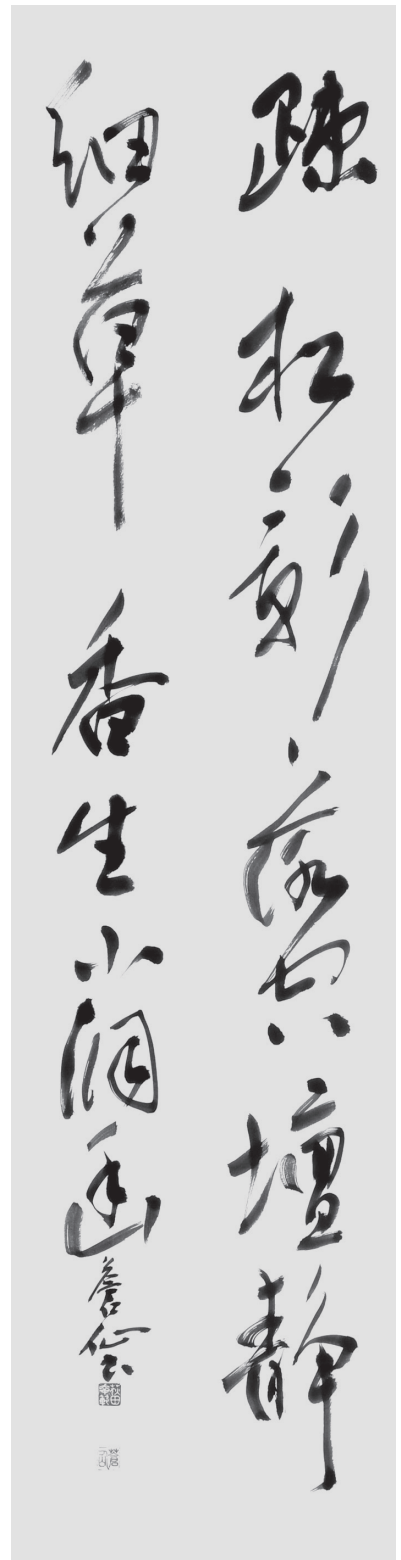
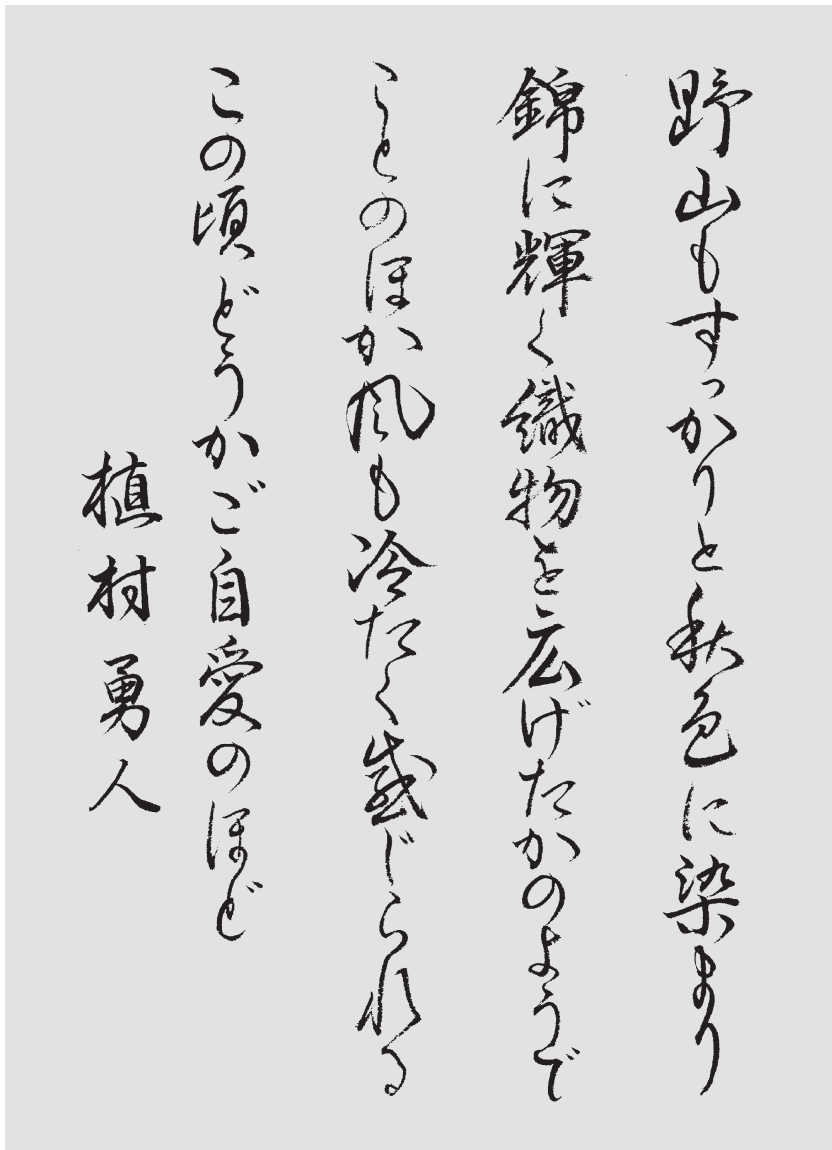
横書き課題

1秒で地球を7周半する光の速度  
でも、太陽まで8分20秒かかる。  
大分県国東市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 十一月二十二日 (必着) 半切 (一三六cm×三五cm)

荻田蒼仙書

半紙 (334mm × 240mm)

伊藤梅香書

疎松影落空壇静

細草香生小洞幽

〔条幅解説〕

書は線、その線は墨量、筆圧、速度等の相関関係にあります。墨量によって速度も筆圧も変わります。傍に反古紙を置いて、墨量の加減を心得て運筆しましょう。

野山もすっかりと秋色に染まり  
 錦に輝く織物を広げたかのようぞ  
 この頃 どようかご自愛のほど  
 ・印で墨つきしました。  
 (ご自分の氏名)

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕枝の疎らかな松は影を落として人氣のない戒壇は静かである。細かい草は香りを生じてその(恐らく寺)小宇宙はこの世と隔絶した別世界である。初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

新入から1級まで(楷書)



清水翠芳書

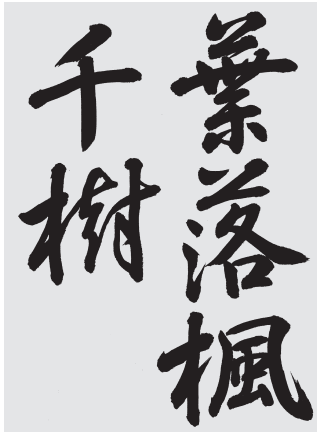
秋月照桐心

〔大意〕秋の月は清くさえて梧桐の心までを照らしている。

〔解説〕

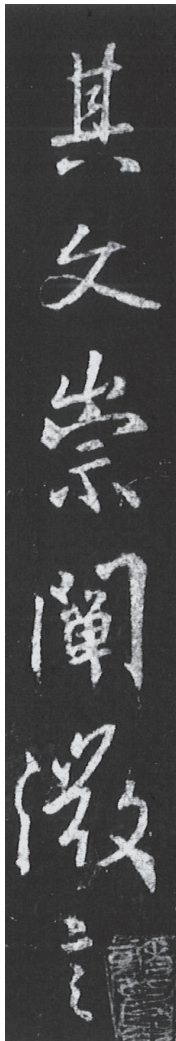
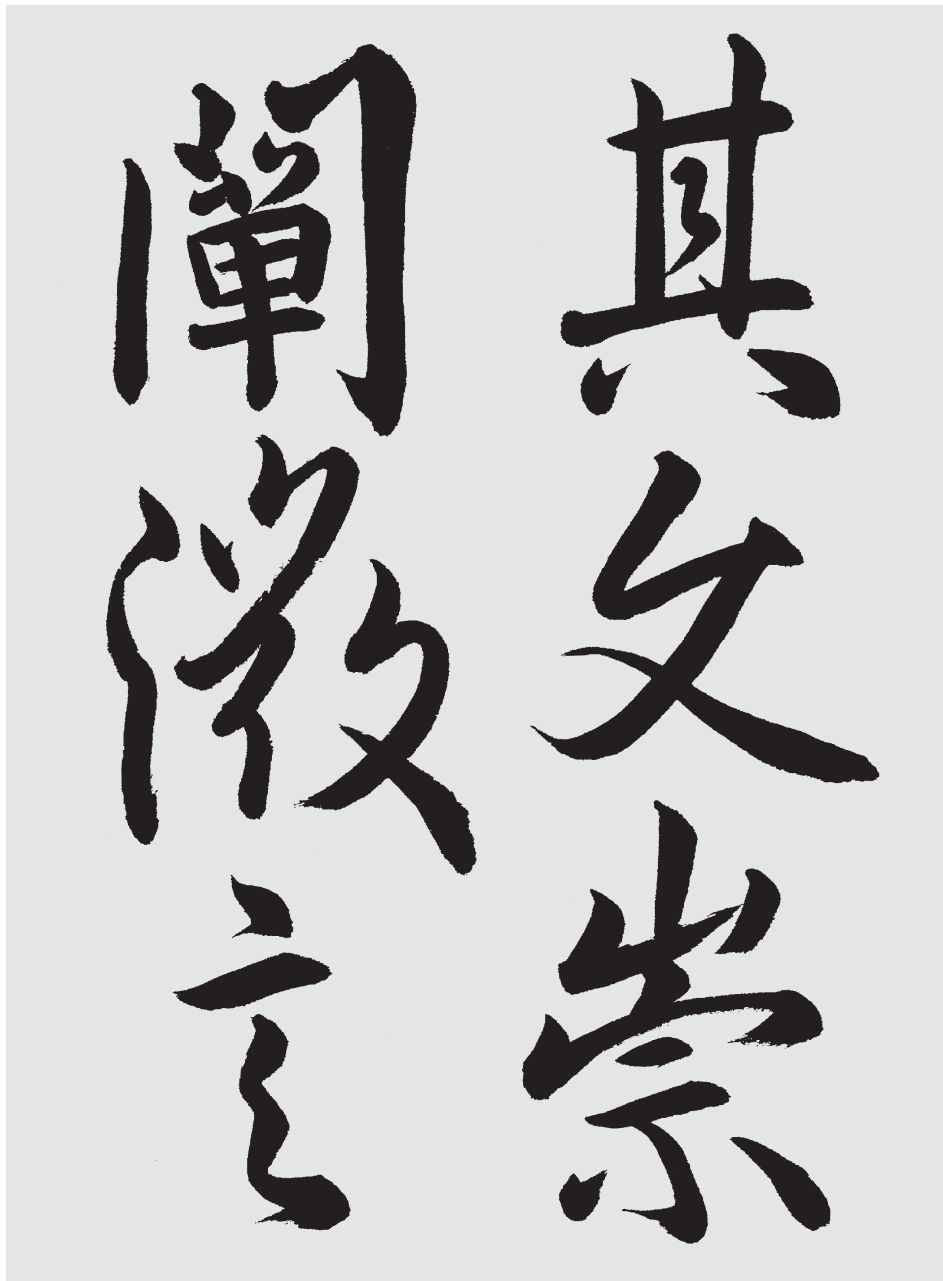


◆12月課題予告(行書)



準初段から師範まで

須田一葉臨



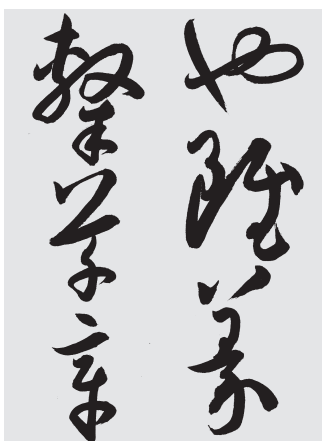
其  
文  
崇  
闡  
微  
之

〔出典〕 集字聖教序(六七二)  
 〔筆者〕 王羲之法書より集字  
 〔読み〕 其の文を(廣むる無く)微  
 言を崇闡するは、

〔解説〕



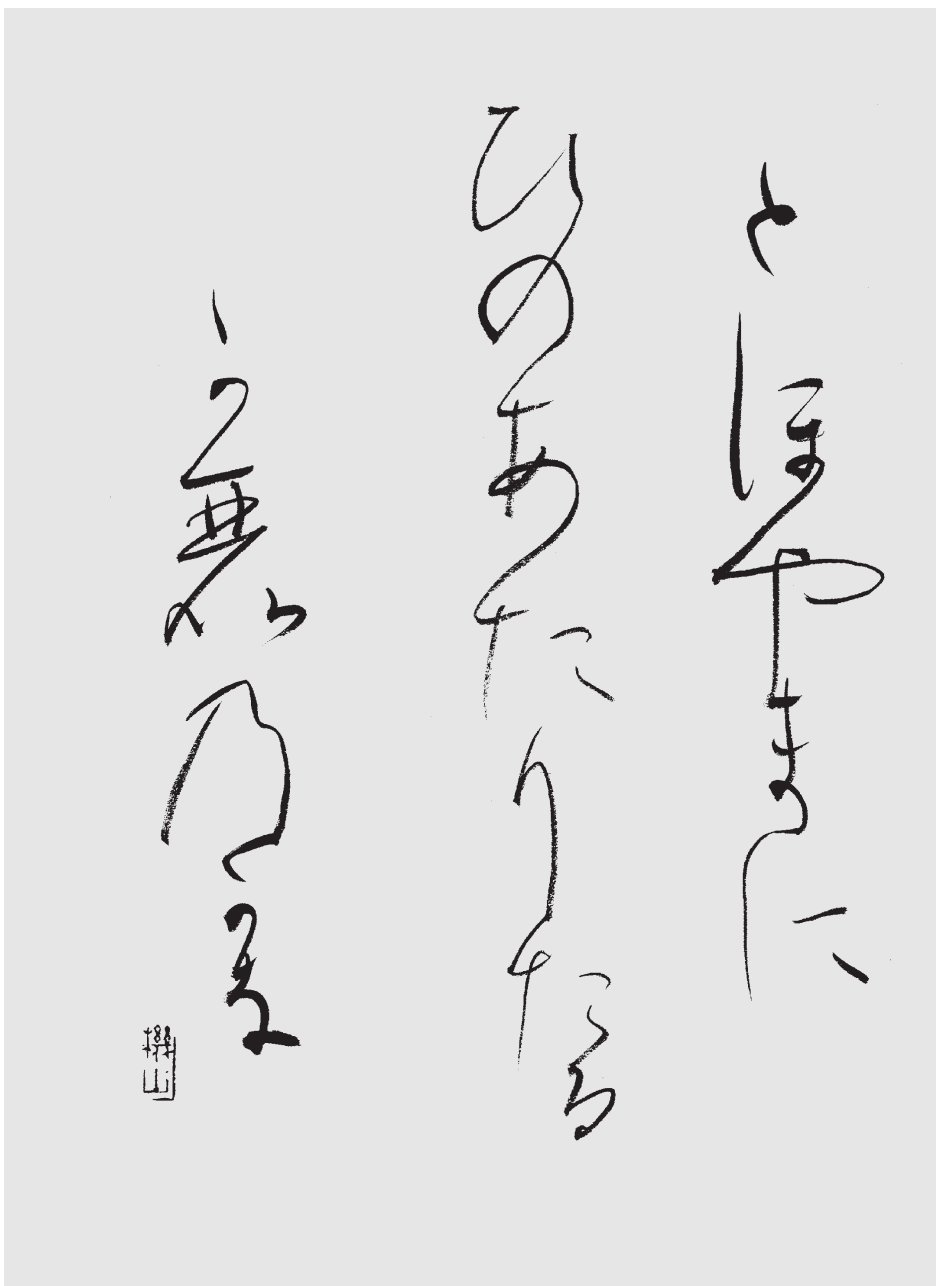
◆12月課題予告  
 ※文献によって字体が異なる場合があります。





新入から1級まで

浅井機山先生書



遠山<sup>とほやま</sup>に日<sup>ひ</sup>のあたりたる枯野<sup>くせの</sup>かな<sup>かな</sup>

高浜虚子<sup>たかはまきよこ</sup>

〔句意〕

わびしい枯野の果ての遠山に、薄日のぼっかりと当たっている光景。枯野の趣が、さびしさでなく明るくほのぼのとしたものとしてとらえられている。

◆12月課題予告

箱根こす人も有らし今朝の雪

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。上5は、上を少しあげ、

中7は、4字と3字の連綿で上から下までいっばいに書きます。

下5は、第1行と第2行の行間よりやや広くしています。

行頭、行尾とも高さに変化がありません。

それでは、1行ずつ見ていきましょう。

「とほやまに」

「と」、「ま」、小さく書き出し、少し間をとって、

「ほ」、大きく、しかし第1画に対して第2画は頭上をややあけています。

以下、連綿線を見ていきましょう。

「ほや」、直線で長く、

「やま」、「や」の終画が「ま」の第1画に直結し、

「まに」、「ま」の終画が曲がり〔反動法〕を使って「に」の第1画に連綿します。

「ひのあたりたる」

この1行を見ると、行尾の「たる」で右に移行しています。〔中心移行〕

行は、揺らぎを作ることによって、左右への響き合いを作ります。しかし、その1行が倒れてしまうようなら失敗です。

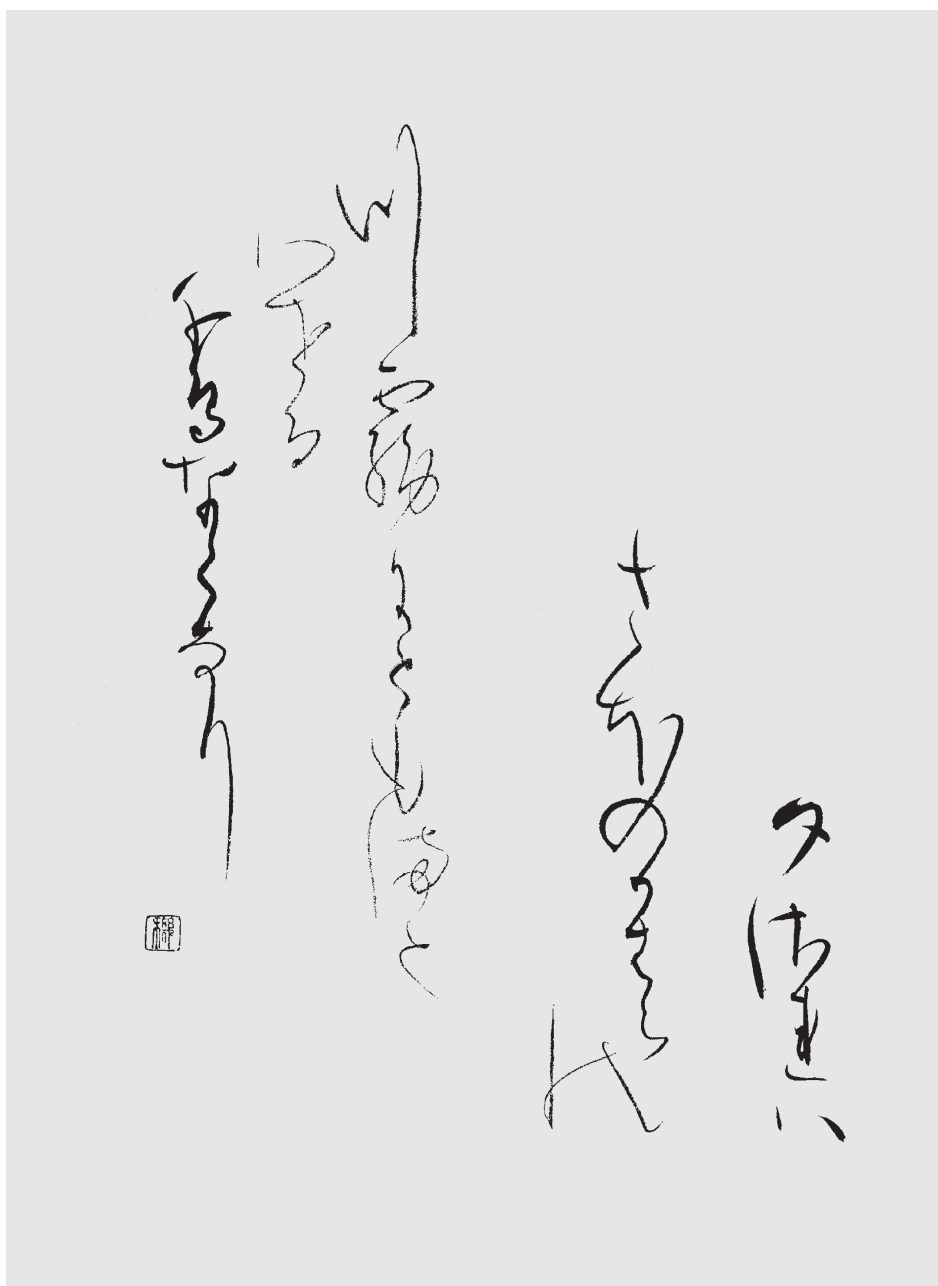
「可麗乃可奈」

「可」、上の余白を受け入れるように点を打ちます。

「奈」、上から見ると大分右寄りです。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



夕<sup>佐連</sup>されば<sup>八</sup>佐保<sup>本</sup>の<sup>可者</sup>川原<sup>ら</sup>の<sup>能</sup>川霧<sup>に</sup>に

とも<sup>満</sup>まとは<sup>八</sup>せる<sup>世</sup>千鳥<sup>奈</sup>なく<sup>奈</sup>なり

「拾遺和歌集4冬238」 紀友則

〔歌意〕

夕方になると、佐保川の川原一面に立ち込めた川霧の中に、友を道に迷わせて離れ離れになってしまった千鳥が、悲しげに鳴いている声が聞こえることだ。

◆12月課題予告

みかの原<sup>はら</sup>わきて流<sup>なが</sup>るる泉<sup>いづみ</sup>川<sup>は</sup>  
いつみきとてか恋<sup>こひ</sup>しかるらむ

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

全部で行数は5行です。前半2行は下の方から書き出し力強く、後半3行は上の方に墨が少なくなり、大きく華やかに、更に墨継ぎして変化を作っています。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

〔夕佐連八〕

「夕」、力強く書き出します。一呼吸して「佐」の第1画につなぎ、後は「八」までリズムよく書きます。

〔さ本の可者ら能〕

「さ」、第1行を受け、上へ勢いよく上がって書き始めます。「本の」で字幅を広げて第1行の「佐」を意識して大きく、ついで「可者ら」は字幅を狭くして流れを作り、大きく「能」を添えてゆったり2行を締めくくります。

〔川霧尔とも満と〕

「川霧」、一番上から大きく、この作品のメインを書きます。一番目立つところにありますから、よく習って格好よく書き上げてください。「尔とも」は上を受けて小さな字で流れを作り、「満」は、字幅を広げ、「と」は、下の余白を意識して溶け込むようにやわらかに終わります。

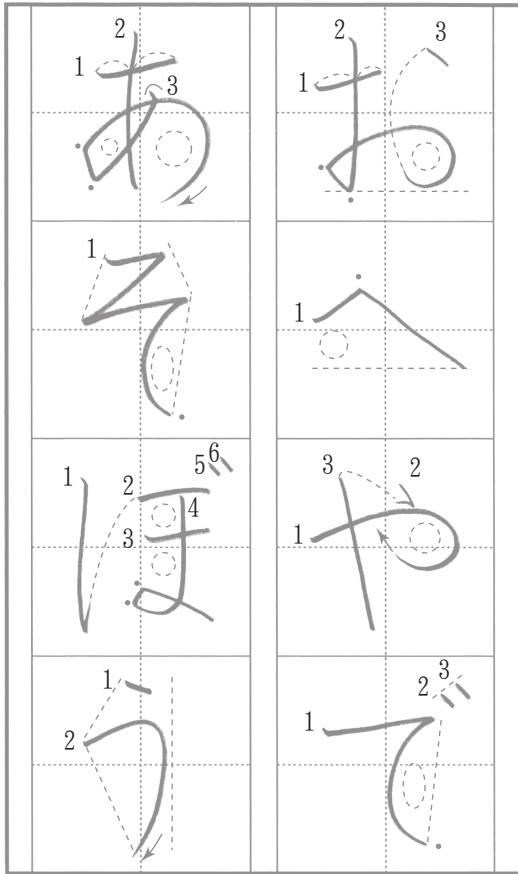
〔八世る〕

カスレが極限まできて、「川霧」をさらに助けてふくらみを持たせます。

〔千鳥なく奈り〕

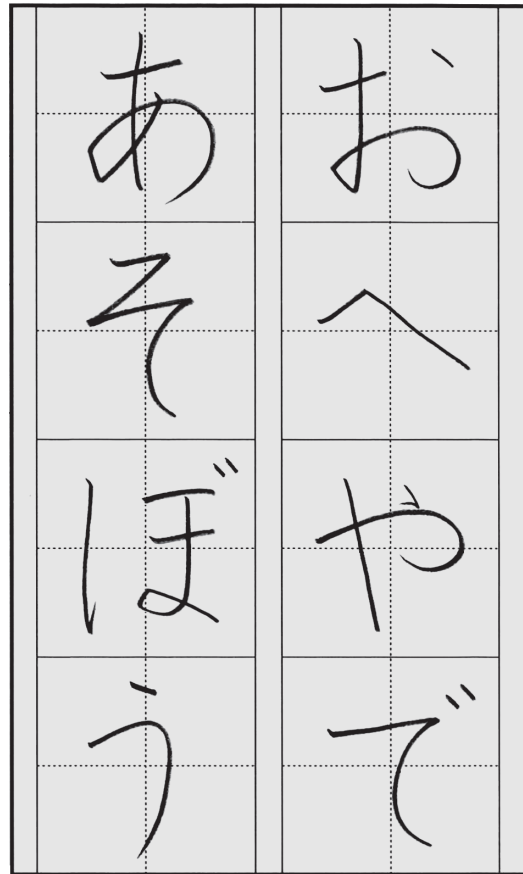
「千鳥」を強く、「り」は軽やかに。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこ)



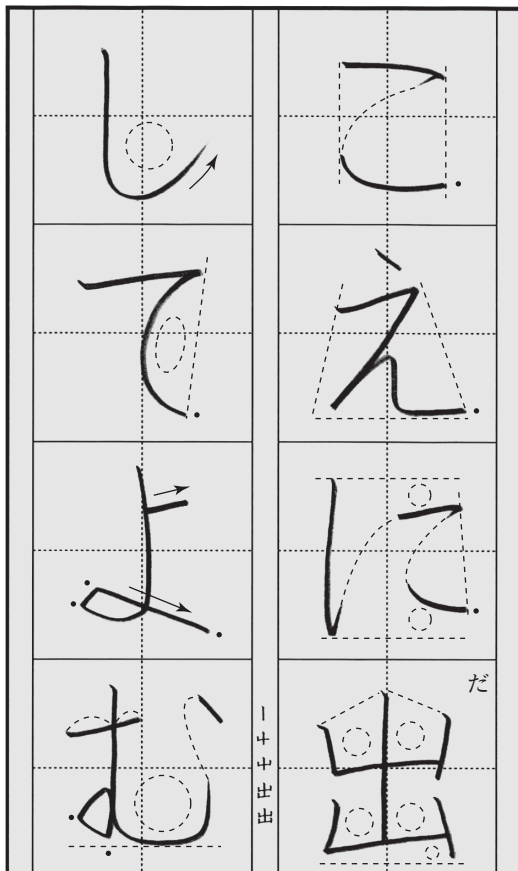
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



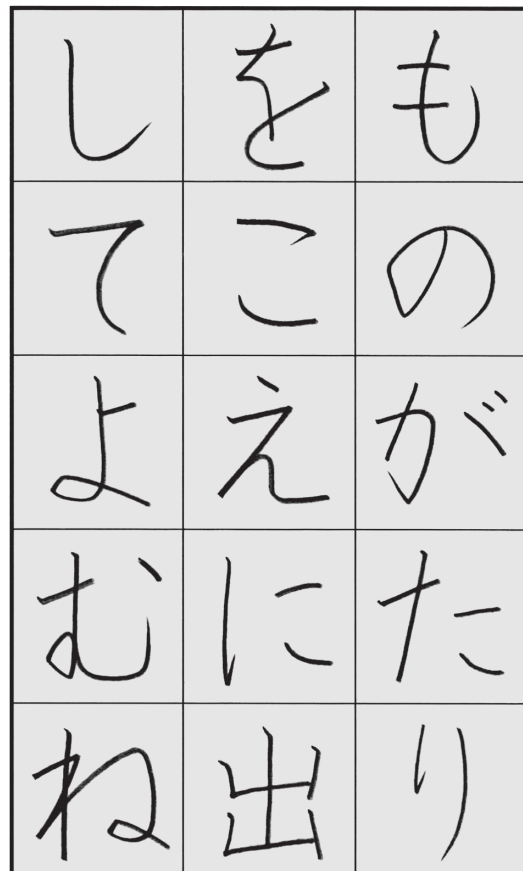
よ  
う  
年

幼年〜小三年まで  
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

ニチ 日	父
ヨウ 曜	さ
ダイ 大	ん
ク 工	と

新入〜1級

工	人	父
を	で	さ
楽	日	ん
し	曜	と
む	大	二

準初段以上

小二年

準初段以上

見	お
て	手
練	本
習	を

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

も	く	お
練	見	手
習	て	本
す	何	を
る	度	よ

準初段以上

小三年

準初段以上



〈用具〉自由(黒色に限る)

キ 気	レイ 例
オン 年	ネン 年
くら(へる) 比	ヘイ 平
すこ(し) 少	キン 均

解説(よく見て習いましょう)

少	気	例
し	温	年
暖	に	の
か	比	平
い	べ	均

小六年

(全頁)

て	を	空
調	鳥	飛
べ	類	ぶ
ま	図	生
す	鑑	物

中二・三年

(楷書)

績	会	姉
を	で	は
収	良	弓
め	い	道
た	成	大

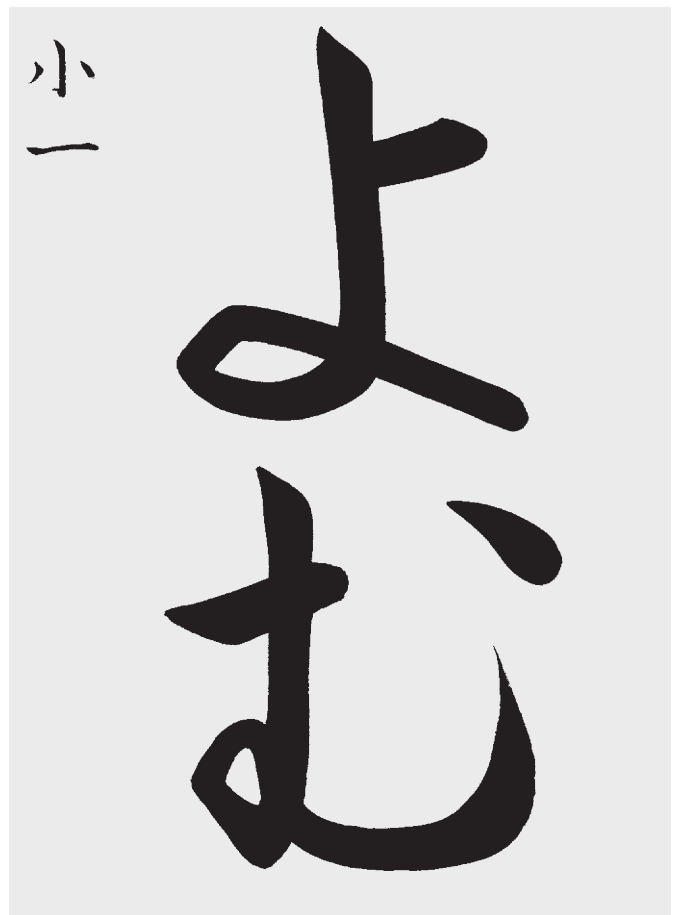
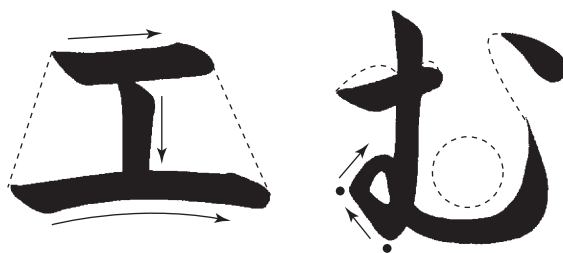
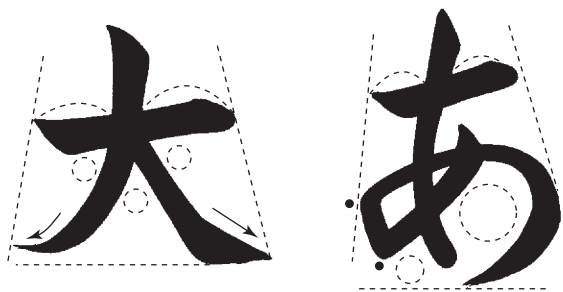
中一年

(楷書)





幼年〜小二年  
酒井智仔書





館 体 育

小五

本 お 手

小三

寺

手

育

本

館

清

寺 清 水

小四

小三〜小五年

水野碧友書

中三  
 凶鳥  
 鑑類

小六  
 気平  
 温均

小六〜中二・三年

玉樹小華書

績

気

鳥

温

鑑

成  
中心

中一  
 成良  
 績い

# 第125回 硬筆検定試験受験要項

11月22日締切り

## ■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

## ■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和五年十一月二十二日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和六年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) …… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

はがき・かな …… 二、〇〇〇円

教育部 …… 八〇〇円

## ◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

課題(ロ)  
段位用紙

課題(イ)  
級位用紙

《行草または草書》  
段位用紙

《行書》  
段位用紙

《楷書》  
段位用紙

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺(正岡子規)  
鐘くへば鐘が鳴るなり法隆寺

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

貴重な学校だ  
長い道であり

貴重な学校だ  
長い道であり

貴重な学校だ  
長い道であり

◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教育部	普通コース			11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	420
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由						2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり  
の受験資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに  
単位を取得されていても、受験の際は改めて  
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除き  
ます。
- 一、単位合格は、二年以上上検定試験を受験しないと  
無効になります。

■規定

書範・教範コース課題  
両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

過度な歓楽は  
必ず心を惑わし  
身体を損ずる

■かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)  
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に  
ちらし書きにして下さい。

かねてより梢の色を思ふかな  
時雨はしむるみ山辺の里(山家集)

■はがき

両コース共通

昨日はいろいろとご指導をあり  
がとうございました。お忙しい中、  
ご親切に有益なお話をたくさん  
お聞かせいただいたおかげで塾を  
開く決心ができました。今後とも  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚  
用具＝えんぴつ

小 1  
大 学 生 の  
す き な 本

用具＝えんぴつ

小 3  
乗 務 員 も  
の 助 か っ た  
と の 知 ら せ

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。  
(小1年はひらがなで書くなど)

用具＝鉛筆以外

小 4  
協 議 し て  
決 定 す る

用具＝鉛筆以外

中 3  
芸 術 家 は 政  
治 的 存 在 で  
あ る ピ カ ソ

■小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上  
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。  
※用具は自由。(鉛筆不可)

■会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚  
▼左の活字課題の行書一枚  
計一枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

日 本 で は 春  
夏 秋 冬 の 変  
化 が 楽 し い

(行書)

# 第85回 毛筆検定試験受験要項

12月19日締切り

## ■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

## ■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和五年十二月十九日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和六年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、二〇〇円  
細字・かな …… 一、八〇〇円

・活字課題

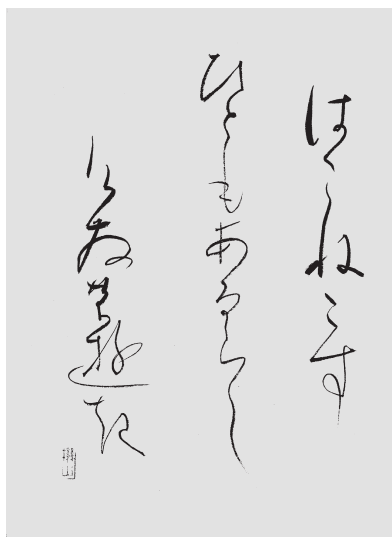
五段コース以上 …… 一、二〇〇円  
会友コース以上 …… 一、四〇〇円  
細字半紙 …… 一、四〇〇円  
条幅 …… 三、八〇〇円  
細字 …… 二、〇〇〇円  
教育部 …… 九〇〇円

## ◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

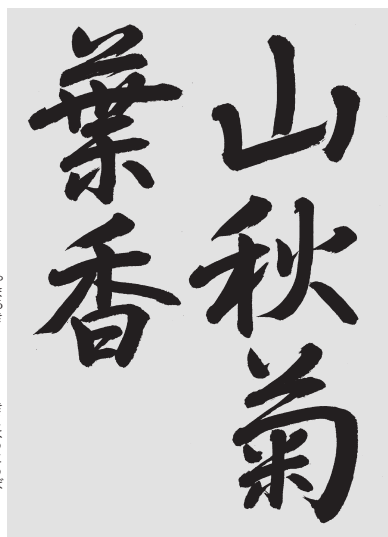
## 〔1級コース課題〕

《かな》



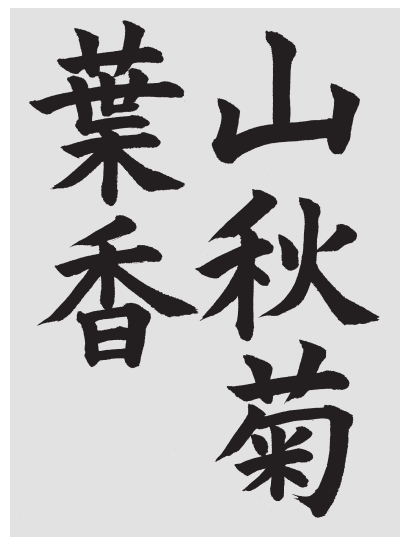
浅井機山先生書

《行書》



清水翠芳書

《楷書》



箱根(はこね)こす人(ひと)も有(あ)らし今朝(けさ)の雪(ゆき)(松尾芭蕉(まつおばしやう))

山秋(やまあき)にして菊葉香(きくようこう)し

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

**五段・書範・教範コース受験のきまり**

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと  
おりの受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取  
得られていても、受験の際は改めて全科目を提出し  
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対  
象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効  
になります。

**五段・書範・教範コース課題**

**漢字**

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に  
臨書して下さい。

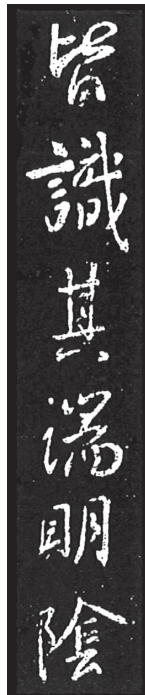
▼孔子廟堂碑

質稟生徳而降



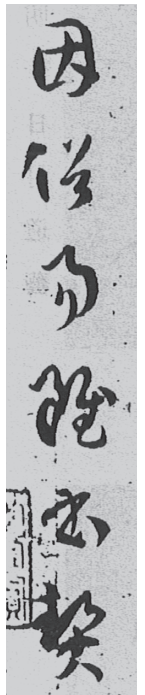
▼集字聖教序

皆識其端明陰



▼書譜

因俗易雖書契



**かな** 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。  
◎みかの原わきて流るる泉川  
いつみきとてか恋しかるらむ(藤原兼輔)

※22頁参照

**条幅** 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

晩径黄花開有色  
暁程残月落無声

**細字** 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下  
さい。

光陰矢の如しと申しますが今年も  
残すところあと十日ほどとなり  
ました 皆様お揃いでよき春を  
迎えられます様お祈りします

**教育部手本課題** 教範コースのみ(半紙)

小 1 やね  
小 6 賛成  
多 数

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。  
(小1年はひらがなで書くなど)

**会友コース課題**

校庭

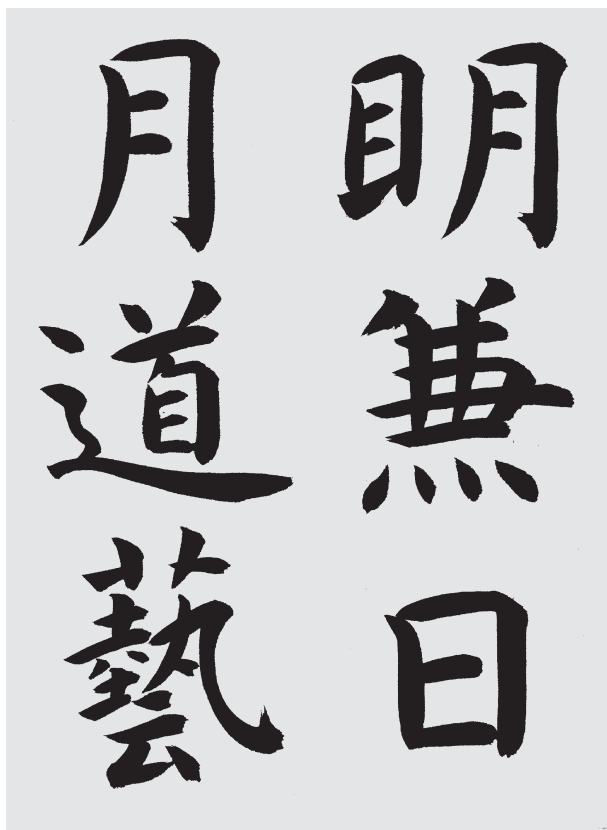
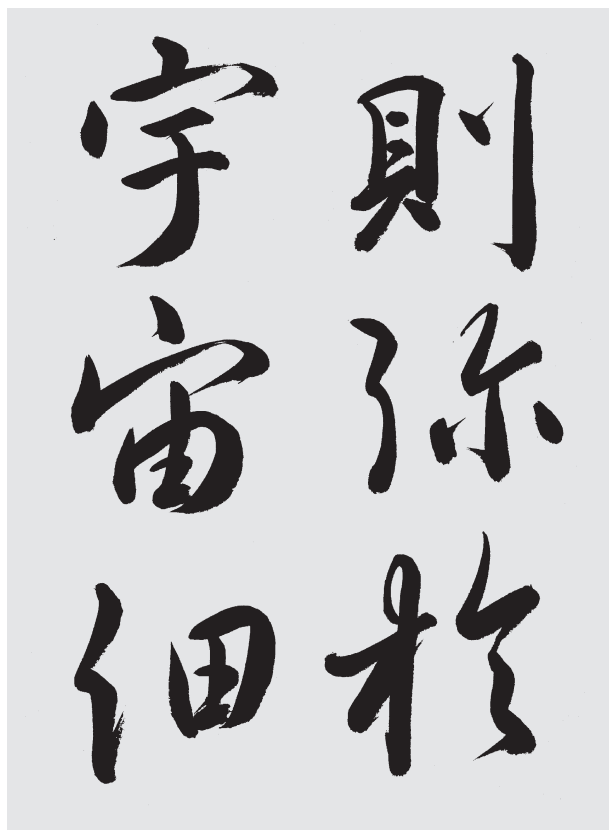
(行書)

▼十二月締切りの自分の学  
年の月例課題一枚  
上の語句の行書一枚  
計二枚を一組とし、右肩  
をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



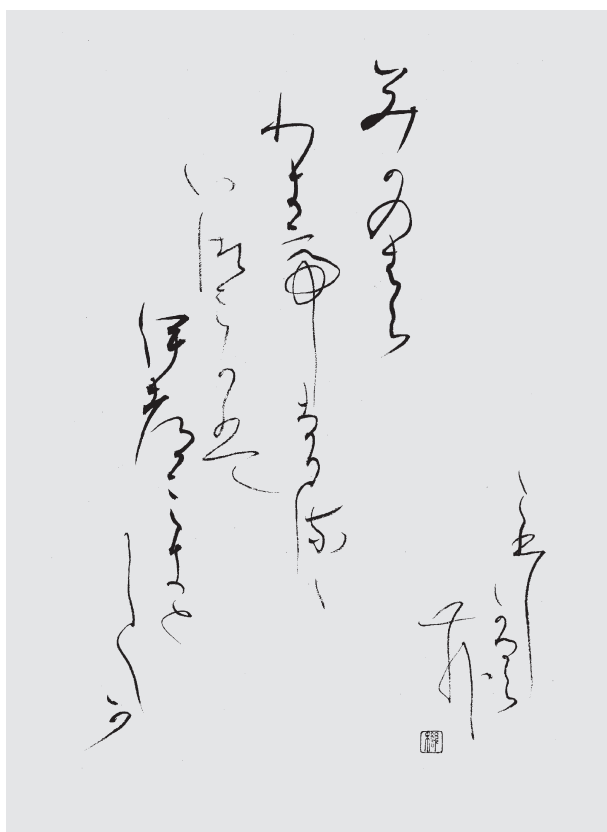
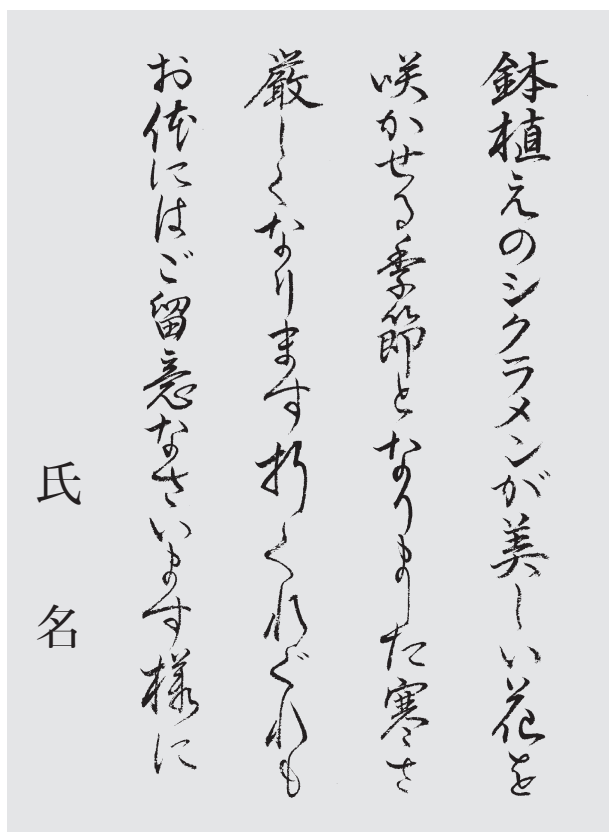
則弥於宇宙細

明兼日月道芸

神谷葵水先生臨

《細字》

《かな》



氏名

みかの原わきて流るる泉川  
いつみきとてか恋しかるらむ  
(藤原兼輔)

伊藤梅香書

浅井機山先生書

※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。